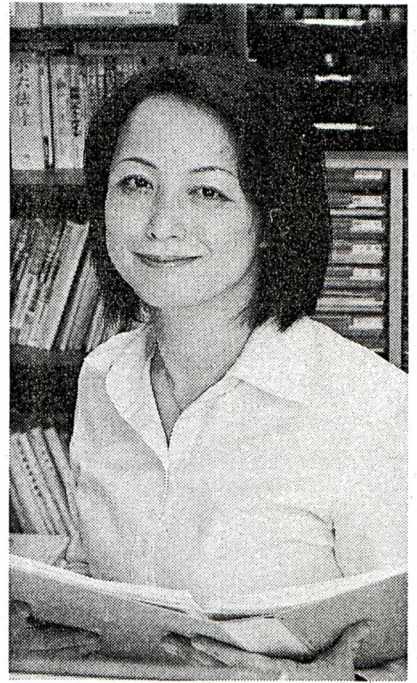


社会保険労務士 ^{ながさわ}長沢 ^{ゆき}有紀 ^{さん} ⑦



「私の原動力は、自分を頼りにしてくれる経営者の皆さん。頼られる限り、頑張ろうと思っと思っています」と目を輝かす。

急に増え、出産予定日も顧問先に顔を出した。「経営者は私の先生であり、私を育ててくれた」との思いが強く、出産ギリギリまで休むわけには

ほどの所に引っ越してもらい、育児を助けてもらっている。

育児との両立無理しない

出産の度に強くなった。10年前に長男、その4年後に双子の姉妹を出産した。経営者は、社員や家族のために骨身を削って真剣勝負をしている。「その気持ちに応えるには行動で示すこと」と、産気づくまで働いた。

長男の出産前後に顧問先が

いかないと考えたからだ。長男出産の数週間後には、病院の許可を得て病室にパソコンとプリンターを持ち込み、労働保険の年度更新のための書類作りや給与計算をした。長男は生後6週間、双子の姉妹は10週間後に保育園に預け、本格的に仕事に戻った。

3人の子供と一緒にいられる時間は少ない。でも、「頑張って生きていけば、絶対分かってくれると信じています」。

輝く女性

「私は、子供が熱を出したからと言って、今日の仕事はキャンセルさせて下さいと絶対には言いません。子供を理由にはできません」

△メモ▽責任の重さと仕事の細かさによるストレスの発散が大切。何も考えずにお笑い番組を見て笑うことが、癒やしになっている。スポーツジムに通い、泳いだり、筋肉トレーニングをしたりする。健康を維持し、元気良く顧問先に対応するための。

両親には自宅から車で10分